

学生のみなさん

2021年度が始まりました。新入生のみなさんは、新型コロナウイルス感染拡大に翻弄された受験を乗り越え、学生生活のスタート地点に立たれました。在学生のみなさんも登学できない時期が長く、クラブ活動や留学もままならない寂しさと悔しさに打ち勝ち、前向きに進んできました。

進級や新入学で心弾む時期ですが、コロナ禍はまだ収束せず、授業やクラブ活動の制約は続きます。しかしこれは、あくまで2019年度までのキャンパスのあり方を「通常」とみなした比較上の表現です。ウィズコロナの暮らしは長期に及び、オンラインの活用や、遠隔と対面を組み合わせたハイブリッド型の授業は定着してきました。本学は幸いにして、感染拡大が始まる以前にキャンパスの基幹ネットワークが完成していたことから、登学禁止期間も、スムーズに遠隔授業を実行できました。先生方の創意工夫により、遠隔やオンデマンドの授業は洗練され、これまでの対面だけの授業とは違う、魅力や効果も見えてきました。

コロナ禍の中にもチャンスはあります。本学は今年度から共通教育でデータサイエンス・AI教育を全国に先駆けて展開します。ICT教育はますます加速するでしょう。コロナ禍がなければ、数年かかったものが、一気に進んでいます。創設以来、常に時代の一步先を志向してきた本学の底力です。

2021年度前期の授業について、講義科目は原則、オンラインとなりますが、演習や実験、実習、実技は対面で行う予定です。対面の場合も、学生のみなさんご家族、教職員の健康を守るため、ソーシャルディスタンスを保ち、感染防止には万全を期していきます。

学生のみなさんには健康管理とマスクの着用、手指の消毒、三密の回避などを引き続き徹底するよう、お願いします。

時代は大きな変換点にあります。この変革期をくぐり抜けた先に、より豊かな社会を実現できるかは、今を生きる私たちにかかっています。その未来をつかみ取るトップランナーはみなさんです。どうか一日一日を大切に、充実したキャンパスライフを送ってください。

武庫川女子大学・武庫川女子短期大学部学長  
瀬口 和義